

# 第69回 しずない農業協同組合通常総会開催

## 全8議案原案通り可決される



TPPについては、国会での法案可決承認後、アメリカのトランプ大統領が、離脱表明をしたことから先行き不透明な形となっています。

平成28年度の当JAの農産物販売は10億7500万円となり、ほぼ計画通りとなりましたが、戦略作目のミニトマトにつきましては、前年度より6200万円減の8億6600万円の販売高となりました。

畜産物につきましては、酪農と黒毛和牛を中心に13億4000万円となりました。

特に黒毛和牛は、市場関係者から高い評価を獲得しており、平均価格も17万円増、全体の取扱も過去最高となる826頭で6億8900万円となり、7億円突破も目前という大幅な伸びとなりました。

軽種馬を除いた農畜産物は、24億1590万円、計画対比107.8%と計画以上となりました。

基幹作目であります軽種馬につきましては、静内産馬の市場取引額は、337頭で27億8400万円とな

り、2年続けて売却率も上昇していることから、国内景気の回復が感じられる一年となりました。

平成28年度の剰余金処分案として、約5000万円の金額を上程することができました。改めて、組合員各位にお礼を申し上げます。

今年度に向けましては、地域農業の高齢化に伴い、持続ある農業経営のため担い手の確保が必要不可欠となっています。

特に新規就農については、平成28年度末で12名の方が就農しています。今年度は、4組7名の方が就農予定となっています。今後も担い手、新規就農者に対して強力に支援をして参りたいと思います。

また、戦略作目のミニトマト、黒毛和牛、プライベートブランド米の「万馬券」、基幹作目の軽種馬と主力の農業に対して、産業奨励事業を中心に各補助事業を盛り込みながら、積極的な経営指導を行い、農業所得の向上と生産基盤の維持拡大に努めて参りたいと思います。

当JAは現在、財務改善に取り組んでおり、これまでは計画以上の成果を上げておりますが、引き続き、改善に努めて参りますので、組合員各位にはご理解をお願い致します。

管内のJA合併については、各JAとも財務改善中でありまして、

合併環境が整うまで、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、JAグループ北海道は、自己改革を踏まえ、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現をテーマに「道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」を実践中でありまして、地域に合わせた中での取組ですので、合わせて組合員各位には、ご協力をお願い申し上げます。

議長には、小池孝義氏、藤川靖仁氏が選出され、上程された8議案全てが原案通り可決となりました。

そして、決議事項として提出された「JA北海道決議事項の着実な実践に関する特別決議(案)」を小倉正信副組合長が朗読し、出席者全員からの満場一致で承認されました。

総会終了後には、長きに渡って当組合の役員を務め、今回の役員改選をもって退任することとなった千葉利一前常務理事より、退任の挨拶がありました。

千葉前常務は、昭和36年度から平成14年度までの41年間JA職員としての職務を果たし、その後は、今年度まで5期15年に渡り、常務として職務を果たされました。

今まで本当にお疲れ様でした。

4月14日、新ひだか町公民館において「第69回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「JAグループは、規制改革推進会議から横暴とも言える改革を要求され、JAの理念が揺り動かされた一年でした。」